としょだより

読書感想文に挑戦しよう

令和４年７月吉日

西富岡小学校図書部

今年の夏休みは、全学年で読書感想文を宿題にしています。目的は、読書に親しむことです。書き方については、夏休み前までに全学年・全クラスで、発達段階に応じて指導しています。書くことが苦手な場合は、原稿用紙１枚でも構いません。たくさん読んで、その中で心に残った本の感想を書

応募要項

①課題読書（課題図書）か自由読書（自由に選んだ図書）のどちらかで書きましょう。

②文字数
1、2年生本文 800字以内
3、4年生本文1,200字以内
5、6年生本文1,200字以内

③ 感想文の題名・氏名・読んだ本の題名等（題名・出版社・著者名）は、１枚目の原稿用紙

第68回 読んで世界を広げる。書いて世界をつくる。
青少年読書感想文全国コンクール

https://www.dokusyokansoubun.jp/youkou.html

課題図書

第68回 読んで世界を広げる。書いて世界をつくる。
青少年読書感想文全国コンクール

https://www.dokusyokansoubun.jp/

なんのために読書感想文を書くの？書く時のポイントは？

『横浜市学校図書館利活用の手引き～学習センター・情報センター・読書センター機能を生かした学びづくり～（R2.3）』のなかでは、「横浜モデル　読書活動を通して育成を目指す資質・能力　一覧表」が示されています。

読書感想文を書くことを通して、A～Dの資質・能力の向上を目指します。特に注目していただきたいのは、**C心情形成（①自己の考えの形成・自己変容・自己判断②人間性の向上・行動変容）**です。

自己変容（C心情形成）に注目すると、選書がともても重要になります。１，２冊読んだだけでは、自分を変えてくれる本にはなかなか出合えないからです。たくさん読む中で（A習慣形成）、自分を変えてくれる本に出合えます。また、読書力（B読書力の育成）がなければ主題を読み取れず、感動することもできません。そして、表現力（Dコミュニケーション）が育っていなければ、作文として読者に感動を伝えることはできません。

読書感想文を書く時のポイントは、審査基準にもあるように、「読書を通した自己変容の過程」を記述することです。つまり、「読書を通じて自分がどう変わったか・どう成長したか」を書くということです。

横浜モデル　読書活動を通して育成を目指す資質・能力　一覧表

分類		目　標	育成を目指す資質・能力	子どもの活動の姿
A	習慣形成	いろいろな本や文章に触れる機会を設け、本や読書に対して日常的に親しみ、興味・関心をもち続けようとする。	①習慣化 ②領域の拡大 ③量の拡充	親しむ
B	読書力の育成	目的や意図に応じて、必要な本や文章を選んだり、言葉や文章を的確に読み、内容を捉えたり、人物の心情を考えたりするとともに、文章表現の特徴を捉えたりする。	①選書 ②文章表現の特徴 ③効果的な読み方 ④読みの深まり（読みのプロセス） ア　語句・文の把握と理解、語彙 イ　内容の把握と理解 ウ　要旨の把握と理解 エ　感想・意見	深める
C	心情形成	ものの見方や考え方を広げたり深めたりしながら、豊かな心情を培い、自分らしくよりよく生きようとする。	①自己の考えの形成・自己変容・自己判断 ②人間性の向上・行動変革	自分をつくる
D	コミュニケーション	目的や意図に応じて、読書で得た感動や、ものの見方や考え方、新たに発見した事実や獲得した知識などを伝え合ったり、表現し合ったりする。	①表現 ア　音声 イ　文字 ウ　絵や立体 エ　身体及び総合的な表現 オ　電子媒体等による多様な表現 ②共有	世界を広げる

〈参　考〉　全国コンクール審査基準　２００８年４月１日　改定

○応募規定にあっているか。
○発達段階に応じた適切な本を選んでいるか。
○読書の喜び、楽しみが感じとれるか。
○広い視野から作品を評価しているか。
○登場人物の心情や、作品の語っているものを的確にとらえているか。
○著者の論旨を的確にとらえているか。
○事実と著者の意見とを区別してとらえているか。
○自分の意見・感想を率直に述べているか。
○自分のことばで表現しているか。
○発達段階に応じた考え方が表現されているか。
○規定の文字数を十分に生かし、自分の思いを表現しているか。

○読書によって得た自己の変革がみられるか。

内閣総理大臣賞（全国の最優秀賞）を読んで書き方（構成）を学ぼう！

読書感想文は、あくまでも読書を通して自分が感じたことを書くものなので、こうでなければならないというものはありません。しかし、一方で何をどう書いたらいいか分からないという相談が多いのも確かです。そこで、今回は、読書感想文コンクールで内閣総理大臣賞をとった作品を通して、どのように感想文を書いたらよいかを考えていきたいと思います。QRを読み込むと、内閣総理大臣賞作品が読めます。

低学年内閣総理大臣賞

書き出しの工夫➡「　」を使って、心で思ったこと（心内語）から、書き始めている。

https://www.dokusyokansoubun.jp/text67rd/stei.html

始め　読む前の自分
●おねえちゃんより、わたし（いもうと）の　ほうが、がまんしている、と　おもっていた。

始めの自分

成長した（考えが変わった）理由

中①●わたし（いもうと）のほうが、がまんしている　りゆう（れい）。
　おやつも、ごはんも　おねえちゃんのほうがたくさんもらえる。

中②●かんがえが　かわったきっかけ
本の中のおねえちゃん（ココちゃん）は　いもうとのために　いつもがまんしている。

中③●かんがえが　かわった　きっかけ
本の中のおねえちゃん（ココちゃん）と　おなじように　わたしのおねえちゃんも　がまんしているのか　と　かんがえてみると、わたしのために　がまんしてくれていたことがわかった。

成長した自分

なんと横浜市の１年生が内閣総理大臣賞を受賞しています。

終わり　読んだ後の自分　（成長した自分）
●じぶんだけでなく、おねえちゃんも　がまんしていることが　わかった　から、じぶんもおねえちゃんも　うれしくなれるようなことが　したいと、おもうようになった。

書き出しの工夫　➡　書き出しと結びを呼応させて書いている

https://www.dokusyokansoubun.jp/text66rd/skou.html

高学年内閣総理大臣賞

始め　読む前の自分　●「明日」が来るのを楽しみにして、ワクワクしながら家へ帰る。

始めの自分

成長した（考えが変わった）理由

中①●考えが変わった　きっかけ
　戦争中であっても、今のぼくと同じように、明日が当たり前にやってくると思っていたと思う。
中②●考えが変わった　きっかけ
　そのことは、鈴木六郎さんが撮りためていた写真が教えてくれた。ページをめくるたびに、自分の家族と重ねた。
中③●考えが変わった　きっかけ
　公子ちゃん一家の日常は僕の家族にそっくりで、親近感がわいた。
中④●考えが変わった　きっかけ
これからどうなるかを知っているので、読み進めるうちに、気持ちが重苦しくなった。
中⑤●考えが変わった　きっかけ
　原爆が投下され、公子ちゃんの語りが止まり、楽しみにしていた「明日」や、親近感を抱いた家族の存在は、一瞬にして消えた。このような悲劇は二度と来るかえしてはいけないと思った。
中⑥　中のまとめ　●どのように考えが変わり、どんな行動をしたのか。
　広島に家族で行った。爆心地周辺のフィールドワークをしたり、平和祈念資料館へ行ったりした。追悼平和祈念館の原爆死没者名簿で、鈴木六郎さんの名前を見つけた。「明日」を奪われた戦没者のことを忘れない。戦争や原爆の事実と向き合い、次世代に伝えていきたい。

成長した自分

中⑥に読書による自己変容がしっかりと書かれています。また、書き出しと結びが呼応されていて、すばらしいの一言です。

終わり　読んだ後の自分　（成長した自分）
●「明日」は当たり前にやってくるものではない。平和は、自分たちの努力で守っていくものだ、と考えるようになった。

読書感想文の書き方例～読書を通じた自分自身の成長（変化）を書く～

読書感想文は、あくまでも読書を通して自分が感じたことを書くものなので、こうでなければならないというものはありません。ここでは、本を読む前の自分と本を読んだ後の自分を比べて、読書を通じた自分の成長（あるいは心の変化）を書く方法を紹介しま

始め（書き出し）	**本を読む前の自分**	「書き出し」で読者をひきつける。
中	**成長（変化）した理由（本を読んで成長した過程）**	
終わり（結び）	**本を読んだ後の自分（成長した自分）**	

感想文Q&A
Q：あらすじは書いた方がいいの？
A：書かないでいいです。知りたいのは、本を通してどう成長したかと、その理由です。くわしくは、QRコードからご覧ください。

感想文Q&A
https://www.dokusyokansoubun.jp/qa.html

書き方の順番例

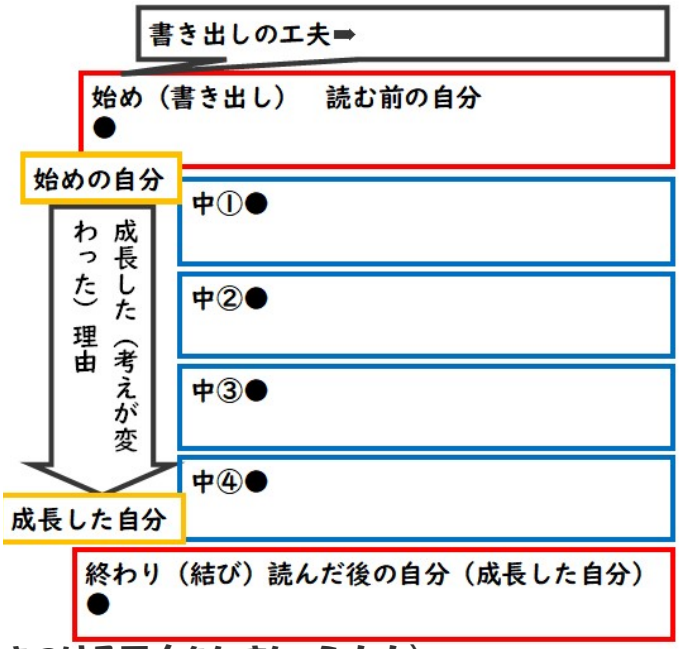
①読んだ本の主題（言いたいこと）をとらえる。
②本の主題（言いたいこと）から、自分が考えたこと（成長・変化したこと）を書き出す。
③始め（書き出し）と終わり（結び）から決める。

（例）●本を読む前、私は〇〇という考え方をもっていた。→しかし本を読んで△△と変わった。
●最初は本に対して〇〇という印象をもっていた。
→しかし読んでみて△△と変わった。
●本を読む前、私は〇〇という問題を抱えていた。
→この本の内容を、△△というかたちで活かせそうだ。

④中　成長・変化した理由を、箇条書きで4つ程度考える。

（例）・本を読む前の状態の理由。・そんな自分と主人公とをくらべると。・「もし自分だったら」と想像する。・自分自身の体験。・「私ならこうするだろう」という想像　。・「私ならこう考える」という意見。・「似たような場面で、私はこうしたことがある」という体験。・登場人物と自分の比較。・気に入った箇所。・胸を打たれた箇所。・自分に置き換えての考察（自分なら～と考える、自分なら～するだろう）・テーマに関連した自分の体験。・印象に残った本の中のセリフ、エピソード　など

⑤「箇条書きひとつで1段落」を目安に書き、読書感想文を完成させる。箇条書きをを補足していくイメージ。



書き出しの工夫例（書き出しはとても重要です。読者をひきつける工夫をしましょう！！）

引用：斜字は、青少年読書感想文全国コンクールHPより

①会話文や、心内語、音などから書く。
「おねえちゃんよりいもうとのほうが、たくさんがまんしてるもん。」わたしは、このほんのだいめいをみたときにおもいました。（67回低学年・内閣総理大臣賞）https://www.dokusyokansoubun.jp/text67rd/stei.html

②自分の意見や、思いから書く。*私は食べるのが大好きだ。美味しいと感じるか、不味いと感じるか。それは、人の五感と環境で決まると思っていた。*（67回高学年・内閣総理大臣賞）https://www.dokusyokansoubun.jp/text67rd/skou.html

③問いかけでひきつける。
https://www.dokusyokansoubun.jp/text65rd/stei.html
「のろい」って何だろう。ふと思っていつものように じ書でしらべると…（65回低学年・内閣総理大臣賞）

④情景描写で始めるスタイル。*冬、岩手は雪と氷に包まれる。私の祖母はこの本に出てくる葛巻町のとなりの町に住んでいる。*（67回中学年・文部科学大臣賞）https://www.dokusyokansoubun.jp/text67rd/monka_styu.html

⑤書き出しと結びを呼応させて書く。（66回高学年・内閣総理大臣賞）https://www.dokusyokansoubun.jp/text66rd/skou.html
書き出し：*「バイビー。また明日。」ぼくの通学路には、いつも、そう言って友達と別れる場所がある。今日も楽しかったなあ。明日は何をして遊ぼうか。「明日」が来るのを楽しみにして、ワクワクしながら家へ帰る。*
結び：*「バイビー。また明日。」ぼくは、これからも友達にそう言うだろう。でも、「明日」が当たり前にやって来るとは、ぼくはもう思わない。平和な「明日」は、ぼくたちの努力で守っていくものだから。*

〈参考〉●『横浜市学校図書館利活用の手引』　横浜市教育委員会（編）2020/3
●青少年読書感想文全国コンクールHP　https://www.dokusyokansoubun.jp
●『豊かな言語活動で読解力を育てる』横浜市小学校国語教育研究会（著）2008/2/1
● STUDY HACKER＞読書感想文の書き方を多数の例文＆画像で解説してみるhttps://studyhacker.net/book-report-tips